

ソフトクリエイティブ ホールディングス

3371 東証 1 部

<http://www.softcreate.co.jp/ir/>

2016 年 11 月 18 日 (金)

Important disclosures
and disclaimers appear
at the back of this document.

企業調査レポート
執筆 客員アナリスト
水野 文也

[企業情報はこちら >>>](#)

■ 17 年 3 月通期は増収増益見込む、足元ではシステム インテグレーション事業が業績をけん引

ソフトクリエイティブホールディングス<3371>は、システムインテグレーション事業、クラウドインテグレーション事業を中心に展開してきた。インフラの構築、SaaS、PaaS、IaaS の各種クラウドサービスの提供、さらには、その後のサポートなどきめ細かに対応し、併せてハードウェアやソフトウェアを販売するなど、顧客の IT 基盤を全面的にサポートしている。

IT 業界は、ネット通販の拡大、ネット広告の需要増加など市場規模は依然として広がる方向にあるほか、クラウドサービスなど企業の IT 投資意欲の高まりを背景に、今後もビジネスチャンスの拡大余地は大きいとみられる。また、最近では、情報漏えいなどによるセキュリティに対し関心が集まっており、企業の IT 投資はより活発化していくものと思われ、同社を取り巻く環境は明るさを増す方向だ。

11 月 2 日に発表した 2017 年 3 月期第 2 四半期累計決算は、売上高が前年同期比 13.2% 増の 6,569 百万円、経常利益が同 15.5% 増の 817 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同 0.9% 増の 533 百万円となった。売上高、経常利益とも 2 ケタ増収増益を確保するなど、好調ぶりが明らかになった。

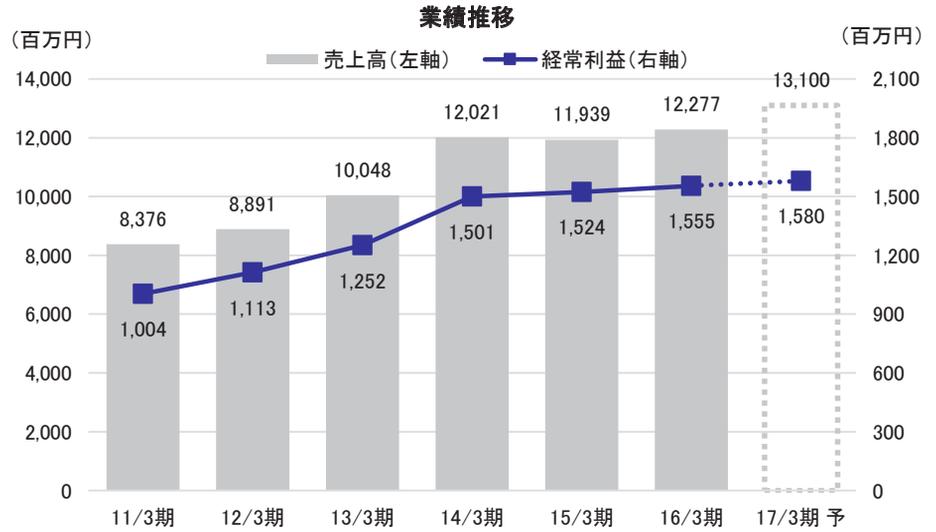
セグメント利益を見ると、EC ソリューション事業が売上高こそ前年同期比 8.1% 増の 3,022 百万円で増収となったもののセグメント利益で同 7.7% 減の 643 百万円と減益を余儀なくされた。しかし、システムインテグレーション事業が売上高で同 35.7% 増の 1,594 百万円、利益で同 59.3% 増の 465 百万円といずれも大幅増を達成。EC ソリューション事業の減益をカバーしただけにとどまらず、収益全体を押し上げた格好となっている。物品販売事業に関しては、わずかながらではあるが、減益となった。

2017 年 3 月期業績見通しは、売上高が前期比 6.7% 増の 13,100 百万円、経常利益が同 1.6% 増の 1,580 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同 0.4% 増の 1,022 百万円を想定している。年間配当金は 2016 年 3 月期に続いて 20 円とする方針。安定的に配当を出す状況となっている。いずれの数値についても、期初に公表した数値を変えていない。

利益面では、売上原価が前年同期に比べて 469 百万円ほど増加しているが、販管費の増加が相対的に抑えられており、利益率の改善が顕著となった。この結果、第 2 四半期累計の営業利益は 772 百万円と前年同期比 24.7% 増と大幅な増益を確保している。親会社株主に帰属する当期純利益が伸び悩んだのは、前年同期に投資有価証券売却益を計上していたのが大きな理由で、それを除けば順調な結果となった。

■ Check Point

- ・ 17 年 3 月期第 2 四半期は売上高・経常利益とも 2 ケタ増収増益を確保する好調ぶり
- ・ 通期も増収増益の見通しながら、進捗率からみて保守的
- ・ システムインテグレーション事業が引き続き業績に推移する見込み



今後については、主力のECソリューション事業は、EC市場、ネット広告市場が拡大するとみられ、ネット通販サイトの構築ビジネスや広告の増加が見込まれている。また、システムインテグレーション事業も、企業のクラウド投資やセキュリティIT投資の活発化が期待されるなど、売上全体のスケールアップが期待できる状況だ。とりわけ、ECソリューション事業では、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の活用に力を注ぐ。

通期の業績予想について、修正を行わなかったものの、これは保守的とみることができる。売上高については、当初の中間期計画が6,290百万円だったのに対し、実績値が6,569百万円、同じく経常利益は758百万円だったのが、817百万円と上振れしての着地となった。折り返し地点の進捗率は、売上高こそ50%をやや上回った程度ながら、経常利益は51.7%となっている。企業のIT投資の活発化、中でも、上期に好調だったシステムインテグレーション事業は、企業のセキュリティ投資意欲の高まりなどを背景に下期も順調に推移するとみられ、通期に関しては上方修正の余地があると言えそうだ。

セグメント別では、ECソリューション事業において、ECサイト構築パッケージ「ecbeing」の販売、カスタマイズ及びデータセンターでのホスティングサービスの提供に加えて、SEO対策、プロモーション等の付加価値サービスなど、トータル的なECソリューションを顧客に提供している。この分野は会社側でも戦略的な事業分野として位置付けており、将来性が期待できる。一方のシステムインテグレーション事業も、企業のおう盛なIT投資に変化が見られないことから、今後も伸びが見込めそうだ。

株主還元

1株当たり配当金の推移

継続した配当を実施



充実した株主優待



長期保有優待制度

平成29年3月末以降、2年を超えて継続して株式を保有していただいた株主様へQUOカードを贈呈!

【300株以上 900株未満保有した場合】	500円分
【900株以上 1,500株未満保有した場合】	1,000円分
【1,500株以上 3,000株未満保有した場合】	1,500円分
【3,000株以上保有した場合】	2,000円分

※毎年3月31日現在の株主様に対し、6月頃に発送を予定しております。

出所：同社マンスリーニュース第144号(平成28年11月号)

ディスクレーマー（免責条項）

株式会社フィスコ（以下「フィスコ」という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ